

シリーズ SERIES マンスリーコーヒーインフォメーション vol.202

MONTHLY COFFEE INFORMATION
グアテマラ～オリエンテ ナチュラル～中深煎り～

グアテマラの一般的な精選方法はウォッシュドで、通常収穫期の最後に水洗式に適さなかったあまりもののコーヒー果実がクロップの最後にナチュラルに仕上げられることがあります。この商品はウォッシュドにも適する真っ赤な完熟果実のみを丁寧にセレクトし高級ナチュラル用に仕上げられた一品です。

我々のパートナーである輸出業者所有のウェットミルが産地にあり、仲買人を通さず農家から直接チェリーで買付を行う為、完熟果実のみを買付すること、コストを抑えることができ、高品質で安定したコストパフォーマンスが高いナチュラルコーヒーの供給が可能となります。

シングルで独特のフレーバーを目一杯楽しむもよし、ブレンドのアクセントに使うもよし、幅広い用途にご使用頂くことが可能なコーヒーです。

焙煎士からのおすすめポイント!!

- ・ フルーツのような甘い香り
- ・ 柔らかな口当たり
- ・ ミックスフルーツの様な甘味が持続する
- ・ ピーチ、メロン、チェリー、干し柿、チョコレートが特徴のコーヒーです。

《グアテマラ～オリエンテ ナチュラル～概要》

地 域：：オリエンテ
(マタケスクイントラ、アヤルサ等)
標 高：1,500m～1,650m
精選方法：ナチュラル
品 種：カトゥーラ・スルボン等

【焙煎度合】

■■■■■□□□

(シティロースト 中深煎り)

今月の TOPICS

コーヒー栽培地が半減する恐れ「コーヒーの2050年問題」へ危機感

全日本コーヒー協会が生産者支援強化の方針

地球温暖化で気候変動が続くと2050年にはアラビカ種コーヒーの栽培適地が2015年比で50%にまで減少する「コーヒーの2050年問題」への危機感の表れか――。

11月21日、都内で開催された全日本コーヒー協会（全協）通常総会後、囲み取材に応じた全協の萩原孝治郎会長理事は「今後は生産側にもっと目を向けていかないといけない」と述べ、全協の活動の軸足を消費振興から生産者支援に移行していく考えを明らかにする。

全協は、コーヒー豆生産国における持続可能な生産を確保し、世界のコーヒー産業全体が持続的に発展していくことを目指し、国際コーヒー機関（ICO）などの国際機関とも連携して世界のコーヒー産業の持続的発展に資する様々な活動を支援していく方針を打ち出している。

その一環として、萩原会長は9月にインド・バンガロールで開催されたICO理事会と世界コーヒー会議に出席し、ICOと国際労働機関（ILO）が実施する「コーヒー生産国の労働安全衛生改善プロジェクト」に全協が資金拠出を行う内容の調印を交わした。

同プロジェクトは、生産国の労働条件を安全性や衛生面などの観点から底上げしていくもの。

同席した全協の大山誠一郎専務理事は「生産者のキャパシティ・ビルディング、生産者に知識をもってもらうために様々なセミナーを生産国・コロンビアで行う。その開催のための費用の一部を我々が負担する」と説明する。

調印したのは単年度の資金拠出。次年度以降も全協・理事会に諮り継続の構え。

一方、国内消費量は「日本のコーヒー需給表」によると1～8月で前年同期比8.1%減となった。これについては、萩原会長は、夏場の猛暑をマイナス要因に挙げるとともに、価格競争が抑制されつつある可能性を指摘する。

なお全協は本年度（2023年/2024年）から3ヵ年をめどに、全協のプレゼンス・認知度を向上させ、ひいては会員増加に資することを目的とし、コーヒー業界全体の発展に資する情報共有・発信などの事業を総額1億円規模で実施する。

(11/23(木) 配信 食品新聞より)

編集後記

あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご愛顧を宜しく
お願い申し上げます。

毎日忙しく過ごす中で、ほっと一息つくコーヒータイム。ただ美味しいを求めるのではなく、
2050年コーヒー問題、持続可能な生活、温暖化や貧困問題など、コーヒー栽培、生産の背景も
本気で考えなければいけない時代になってきているかもしれないですね。(S.H)

Vol.534

発行日/毎月1回1日発行
/2024年1月1日通常 第534号
発行所/富士コーヒー株式会社・総合企画室
HP/http://www.fujicoffee.co.jp
名古屋市中川区舟戸町6-18
TEL (052) 362-1161 FAX (052) 362-1801

FUJI COFFEE NEWS

1 2024
月号
Vol.534

【営業日カレンダー 1月】

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1 赤口 元旦	2 先勝 振替休日	3 友引	4 先負	5 仏滅	6 大安
7 赤口	8 先勝 成人の日	9 友引	10 先負	11 赤口	12 先勝	13 友引
14 先負	15 仏滅	16 大安	17 赤口	18 先勝	19 友引	20 先負
21 仏滅	22 大安	23 赤口	24 先勝	25 友引	26 先負	27 仏滅
28 大安	29 赤口	30 先勝	31 友引			
休業日						

タンザニア： 農園風景 (左) キリマンジャロ (中央) コーヒー豆乾燥風景 (右)
グアテマラ： 農園風景 (左) コーヒー豆乾燥風景 (右)

新年のご挨拶 ―2

生活者に聞いた“2024年生活気分” ―2-3

珈琲小咄 ―1

マンスリーコーヒーインフォメーション ―4

 ホームページ <http://www.fujicoffee.co.jp>

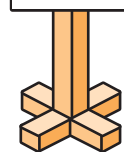
富士コーヒー社員の本音が垣間見える(?)社員ブログも随時更新中！
上記HP「お知らせ」タブか右のQRコードからご覧下さい！！



『少しづつ』



コーヒーこぼなし
三遊亭圓窓



今年はずいぶん、家を出た。コーヒー好きだった亭主のために、コーヒーセットを持参して墓石に水の替わりにコーヒーをかけてあげるつもりでいる。未亡人が墓前でいれるコーヒーの香りが、あたりに立ちこめた。

「あなた、お待ちどうさま。飲みたかったでしょう。大好きなコーヒーですよ」情のこもった問いかけのあと、墓石からの返事待つような沈黙があった。

未亡人は踵をちよつと上げるようにして、墓石の上でカップをかたむけた。一杯のコーヒーは滑り落ちるように墓石を濡らした。

突然、未亡人は身の動きを止めた。墓石から苦笑をまじえた亭主の声が聞こえたような気がしたからだ。

「オイ、一ベンにかけるなよ。コーヒーは少しづつ飲むもんだぞ」

『あきあき』

ある高校の同窓会―誰が真面目だったか、という話題になった。

「オレは授業をサボっちゃあ、喫茶店へ入りびたってたよ」

「俺は学校帰りにときどき入ったくらいだ」

「私は在学中、一度も行ったことなかった」

「ボクは中学、高校の六年間、喫茶店から学校へ通ったね。喫茶店はもうあきたよ」

「お前はすごい不良だったんだな」

「なあに、家が喫茶店をやってたんだ」

昭和五十六年七月号掲載分より

お知らせ…三遊亭圓窓師匠を偲んで、過去のコーヒー小話を掲載させていただきます。

三遊亭圓窓師匠のホームページ <http://ensou-dakudaku.net/>



新年のご挨拶

富士コーヒー株式会社 代表取締役社長 塩澤彰規



代表取締役社長
塩澤彰規

あけましておめでとうございます

皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

長く猛威を振るってきたコロナ禍もようやく落ち着きを見せ、人々の行動も平常時に戻ってきたこの1年でございましたが、その一方でデフレ社会からの脱却に向けた経済環境の変化の中で、我々がどのように先を見通しどのように行動していくべきかを、真剣に考えていかなければならない時が来たと痛切に感じているところであります。本年においても物価高騰はしばらく続くこととみられ、家計への圧迫から生じる消費低迷も懸念されます。

しかしながら、お客様に有益となるサービスを提供しようとする我が社の社業は変わることはなく、私たちの仕事の本質は変わらないと信じています。そんな課題に立ち向かうべく、弊社と致しましても様々な情報提供を行っていく所存でございます。

皆様におかれまして富士コーヒーと取引してよかったと実感できる一年となるよう日々精進する所存でございますので、本年も一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒、宜しく願い申し上げます。

末筆となりますが、本年が皆様にとりまして輝かしい年となりますことを心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



生活者に聞いた“2024年生活気分”



● 来年の景気予想「悪くなる」は36.2%で「良くなる」の2倍以上に

- ★来年の「世の中の景気」予想は、「悪くなる」(36.2%)が前回から減少するも、「良くなる」(14.7%)の2倍以上に。この「悪くなる」のスコアは、コロナ禍1年目(2020年調査)と同程度の高い水準。
- ★来年の景気が「悪くなる」と思う理由は「物価上昇」が最多。

● 来年お金をかけたいのは①旅行②貯金③ふだんの食事

- ★「来年お金をかけたい」が「今年お金をかけた」の数値を最も大きく上回ったのは「貯金」で+7.1pt増

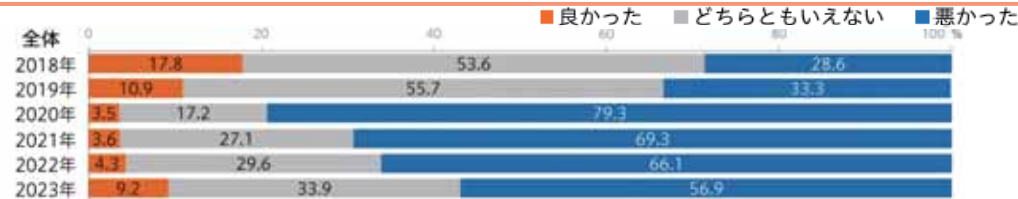
博報堂生活総合研究所は、翌年の景況感などについて全国の20～69歳男女3,900人に予想してもらい“2024年生活気分”としてまとめました。今回の結果では、来年の景気が「悪くなる」は前回より減少したものの、コロナ禍1年目(2020年調査)と同程度の高い水準を維持しています。また、来年は今年よりも「旅行」「貯金」などにお金をかけたいという意識が高まっています。新型コロナの5類移行で高まる旅行への意欲と、長引く物価上昇から家計を守りたいという意識が混在している生活者像がみえてきました。

2024年の景況感

今年の景気実感は「悪かった」が6割弱。来年の景気予想は「悪くなる」が4割弱で高水準

- ・今年の「世の中の景気」実感は、「悪かった」が56.9%と、前回調査(66.1%)より-9.2ptとなり、3年連続で減少しました。来年の「世の中の景気」予想は、「悪くなる」が36.2%で、スコアが大幅に増加した前回(44.9%)より-8.7ptと減少しました。また、「良くなる」(14.7%)は前回(12.1%)より+2.6ptとやや増加、「変わらない」(49.1%)は前回(43.0%)より+6.1pt増加しています。

今年(2023年)の「世の中の景気」実感



来年(2024年)の「世の中の景気」予想



- ・世の中の景気予想の理由(自由回答)を集計したところ、「悪くなる」と思う理由では「物価上昇の継続・加速」(44.6%)、「良くなる」と思う理由では「経済の好転」(18.2%)がそれぞれトップとなりました。コロナ禍の収束や物価上昇の落ち着きを期待して、経済の好転を予測する一方、物価上昇がそれを上回る景況を及ぼし、来年も景気が悪くなると考えている生活者が多いようです。

来年の家計予想は「良くなる」が前回より増加も、物価上昇などの影響で「悪くなる」の方が3割と多め

- ・今年の「自分の家計状態」は、「良かった」が11.0%、「悪かった」が44.0%と、どちらも全回からやや増加となりました。
- ・来年の「自分の家計状態」は、「良くなる」が13.4%で、数値の低かった前回(10.2%)から復調しました。また、「悪くなる」についても31.7%と数値の高かった前回(36.8%)から約5pt減少しています。
- ・来年の家計予想の理由(自由回答)を集計したところ、「良くなる」と思う理由は「収入の増加」(31.7%)、「就職や転職などによる改善」(19.7%)、「希望的観測」(12.4%)、「出費の減少」(6.5%)、「家計の見直し」(5.7%)で、「悪くなる」と思う理由では「物価上昇による出費増加」(45.3%)、「収入の減少」(40.9%)、「仕事の減少」(8.6%)、「景気低迷の継続」(5.7%)、「増税」(5.5%)がそれぞれ上位となりました。好転を予想する声もありますが、厳しい家計状況を訴える声も依然多く見られます。

2024年世の中の変化予想

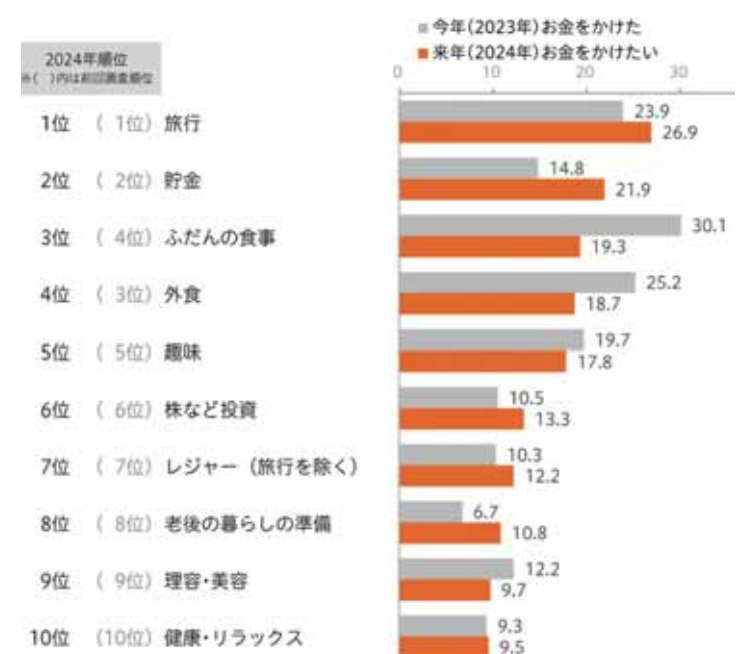
今年の変化実感は「多かった」が4割弱。来年「多くなる」の予想は3割強で、3年連続減

- ・今年の「世の中の変化」実感は、「多かった」が37.2%、「少なかった」が11.1%となり、ともに前回から大きな変動はありませんでした。
- ・来年の「世の中の変化」予想は、「多くなる」が前回から-3.2ptとやや減少して33.5%となり、3年連続での減少となりました。
- ・来年「多くなる」と予想する変化(自由回答)をみると、「物価上昇の継続・加速」(20.0%)や「国際情勢の変化」(7.0%)、「異常気象や災害の増加」(6.7%)など、ここ数年間で特に問題視されている変化が、さらに続く予想する声が多く見られました。

2024年にお金をかけたいこと

1位「旅行」、2位「貯金」、3位「ふだんの食事」。上位2項目では「今年お金をかけた」を上回る

- ・「来年お金をかけたいものの上位は、「旅行」(26.9%)、「貯金」(21.9%)、「ふだんの食事」(19.3%)。そのうち上位2項目は「今年お金をかけた」を上回っており、その差分は「貯金」で+7.1pt、「旅行」で+3.0ptとなっています。
- ・ほかにも、8位「老後の暮らしの準備」(来年10.8%、今年6.7%、差+4.1pt)、6位「株などの投資」(来年13.3%、今年10.5%、差2.8pt)などで今年より来年の意向が高くなっています。
- ・一方、3位「ふだんの食事」は今年30.1%に対し、来年の意向は19.3%と低く、その差は-10.8ptとなっています。物価上昇の影響で食など身近な支出への意欲は低めですが、新型コロナの5類移行で加速した外出ムードで旅行への意欲は高まっているようです。



来年始めたいこと、やめたいこと

始めたいことは「運動・体操・筋トレ」、やめたいことは「無理しての人付き合い」

- ・「来年始めたいことがある」人は28.1%、「来年やめたいことがある」人は18.9%で、前回調査から大きな変化は見られません。
- ・「始めたいこと」では、「運動・体操・筋トレ」(33.2%)がトップで、「副業」(27.1%)、「投資・資産運用」(25.9%)と続きます。
- ・一方、「やめたいこと」は「無理しての人付き合い」(32.9%)、「無駄遣い・衝動買い」(32.2%)、「スマートフォンの使い過ぎ」(27.9%)が上位に。来年は、体力の向上と合わせて、無理や無駄の抑制・効率化を目指し、収入や蓄えを増やそうという意識が見られます。
- ・「始めたいこと」「やめたいこと」ともに男性よりも女性の値が高いものが多く、「始めたいこと」では1位の「運動・体操・筋トレ」、「やめたいこと」では3位の「スマートフォンの使い過ぎ」をはじめとする5項目で、男女差が10pt以上となっています。